

施策番号	2004		
施策名	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用		
概要	地下鉄を市民生活やまちづくりに積極的に活用するため、市バスをはじめとした他の公共交通機関とのネットワークの強化、駅ナカビジネスの充実など、その魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と沿線地域の活性化を推進する。		
担当局・部室	交通局・企画総務部	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	京都市高速鉄道事業経営健全化計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 地下鉄の旅客数(千人)	a	a	348	359	338	106.2%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	210	224	79	23	19	555	a	
	37.8%	40.4%	14.2%	4.1%	3.4%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							a	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 本市のまちづくりをはじめ、あらゆる政策を総動員して実現を目指す1日5万人の増客は、将来にわたる地下鉄事業の安定的運営に向けた健全化策の最大の柱であり、客観指標による評価を重視する。						26年度	A
(原因分析) 【客観指標】 旅客数が増加しており、3年連続a評価と高い評価で安定している。旅客増の要因としては、①地域、大学や事業者などオール京都で人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向け、公共交通の利用を促進したこと、②全庁を挙げて駅周辺における観光・集客イベントを積極的に開催したこと、③観光客数の好調な伸びと、それに対応した増発や利便性の向上、地下鉄利用のPR、企画乗車券の販売促進に取り組んだこと、④公共交通優先の取組の浸透による通勤・通学定期の利用の増加などによるものと分析している。 【市民の実感】 「そう思う」、「どちらかと言うとそう思う」の2つを合わせて78%を占め、昨年度に引き続きa評価と高い評価を得ており、烏丸線の増便をはじめとした様々なお客様サービスの向上、駅ナカビジネスの拡充、市バスのICカードシステムの導入など、地下鉄・市バスの利便性向上の取組が評価に繋がったと分析している。						25年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		26年度決算額	27年度予算額		
1	京都市高速鉄道事業	65,260,089	76,249,000	-	交通局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●引き続き、公共交通優先の「歩くまち京都」を推進し、オール京都による観光客、市民への地下鉄の利用促進に向けた取組や、積極的な駅ナカビジネスの展開、ICカードの普及促進など利便性の向上の取組により、地下鉄の魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と地下鉄を基軸としたまちづくりを推進する。

施策名	2004	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用																		
指標名	地下鉄の旅客数（千人）																			
担当課	営業推進室	連絡先	863-5094																	
1 指標の説明																				
地下鉄の1日当たりの旅客数																				
2 指標の意味			3 算出方法・出典等																	
ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の発展に資する地下鉄1日5万人増客に向けた取組状況を示す指標			算出方法：旅客収入から算出した1日平均旅客数 出典：事業担当課調べ																	
4 数値																				
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移 11千人増	目標値																
数値	348	359		数値 338	根拠 京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数見込み	達成度 106.2%														
	全国順位	中長期目標			備考															
数値		数値 375千人	目標年次 30年	達成度 95.7%		根拠 京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数増加見込み														
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果															
1日当たりの旅客数が a：341千人以上 b：339千人以上340千人以下 c：338千人 d：336千人以上337千人以下 e：335千人以下		京都市高速鉄道事業経営健全化計画（下表）における各年度の旅客数の見込みについて、達成をcとし、2千人の増減の範囲をbまたはd、それらを上回る（下回る）増減をa（e）とした。			25 26 27															
		<table border="1"> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>329千人</td> <td>330千人</td> <td>338千人</td> <td>347千人</td> <td>356千人</td> <td>365千人</td> <td>375千人</td> </tr> </table>			24	25	26	27	28	29	30	329千人	330千人	338千人	347千人	356千人	365千人	375千人	a a a	
24	25	26	27	28	29	30														
329千人	330千人	338千人	347千人	356千人	365千人	375千人														